

夏休み

夏休みの間、みなさんがいない校舎や運動場はとても静かで、教室の机もロッカーも、そして下駄箱もとても寂しそうにしています。

みなさんが元気に学校に戻ってくる日は、机や下駄箱、そして先生方もきっと笑顔を見せることでしょう。

今年は、8月7日から23日までの例年になく短い夏休みです。普段は寄宿舎生活を送っている生徒のみなさんは、束の間の休みどのように過ごしているのかな、などと思いを巡らせます。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症や熱中症で気を付けることがたくさんあります。健康と安全に気を配りながら暑い夏を乗り越えましょう。

さて、今回の新型コロナウイルス感染症は、グローバル社会に生きる私たちに様々な課題を突き付けています。おそらく数十年前ならば、ある地域だけで起こった風土病で終わったはずなのですが、今や世界的な流行となっています。すなわちパンデミックを引き起こしました。そして、これからもこのようなウイルスによる現象は形を変えて起こり続ける可能性があると言われていています。

コロナウイルス感染症関連ではたくさんの悲しいニュースが聞こえてきます。感染した人に対する差別や誹謗中傷、咳をしている人への暴言等、とても心が悲しくなる出来事です。

今、私たちができることは何でしょうか。手洗いの徹底やマスクの着用、3密を防ぐ、施設などの消毒等、自分で出来ることから着実にやっていくことが大切であり重要です。

そして、新しいルールや生活様式などを生み出す**創造**も必要です。そこには、他人の気持ちを知り思いやる心「他者理解」(**想像**)や自らを律する「**自律**」が大切です。

2学期も細心の注意を払いながら、学校が再度、臨時休校とならないように自分たちでできる身近なことを一緒に取り組んでいきましょう。

私たち職員は笑顔のみなさんを待っています。

校長 牛島 大典